

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年7月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年7月1日～7月31日）

○調査期間：令和6年7月31日～令和6年8月22日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査及び全会員対象のWeb景気動向調査アンケート

○回収状況：建設業16企業、製造業18企業、卸売業13企業、小売業16企業
飲食業12企業、サービス業33企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計108企業>

○調査項目：7月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

○判断の基準

	好調	やや好調	横ばい	やや低調	低調
DI値	DI ≥ 20	20 > DI > 5	5 ≥ DI ≥ ▲5	▲5 > DI > ▲20	▲20 ≥ DI

1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は横ばい。
前月(やや低調)からは好転(▲17.0→▲2.7)
- 全産業合計の水準DIはやや低調。
前月(低調)からは好転(▲23.2→▲10.2)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
業況DI	低調	好調	横ばい	やや低調	好調	やや低調
水準DI	低調	やや好調	やや低調	やや低調	やや好調	やや低調

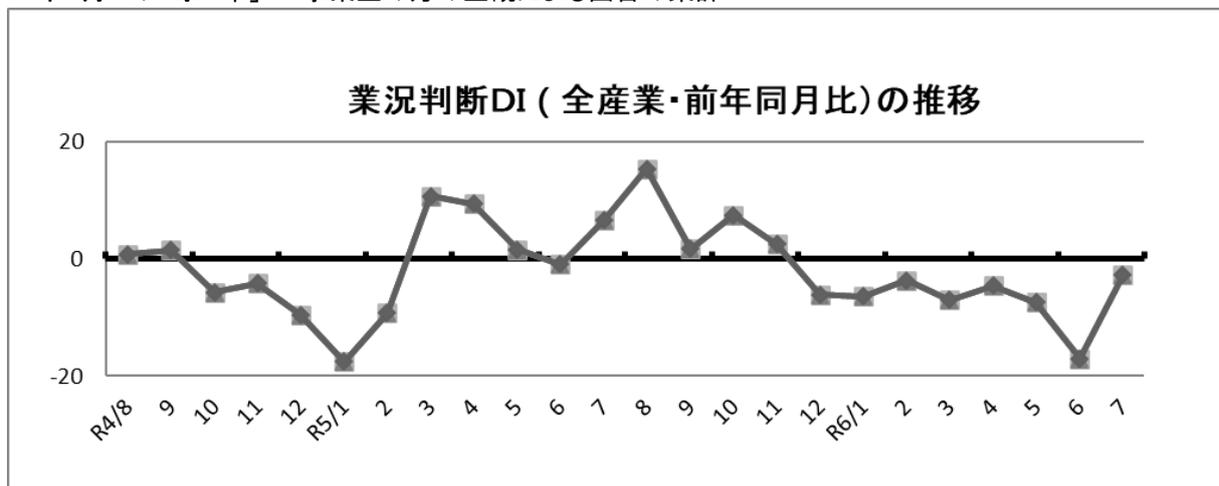
	業況[前年同月比]					今月の水準				
	好転%	不変%	悪化%	DI	前月との差	良い%	普通%	悪い%	DI	前月との差
合計	16.7 (13.4)	63.9 (56.2)	19.4 (30.4)	▲ 2.7 (▲ 17.0)	14.3	15.7 (10.7)	58.4 (55.4)	25.9 (33.9)	▲ 10.2 (▲ 23.2)	13.0
建設業	6.3 (0.0)	56.2 (61.1)	37.5 (38.9)	▲ 31.2 (▲ 38.9)	7.7	0.0 (0.0)	62.5 (61.1)	37.5 (38.9)	▲ 37.5 (▲ 38.9)	1.4
製造業	33.3 (5.6)	61.1 (61.1)	5.6 (33.3)	27.7 (▲ 27.7)	55.4	22.2 (11.1)	61.1 (50.0)	16.7 (38.9)	5.5 (▲ 27.8)	33.3
卸売業	7.7 (0.0)	84.6 (46.2)	7.7 (53.8)	0.0 (▲ 53.8)	53.8	23.1 (0.0)	46.1 (53.8)	30.8 (46.2)	▲ 7.7 (▲ 46.2)	38.5
小売業	0.0 (25.0)	81.2 (62.5)	18.8 (12.5)	▲ 18.8 (12.5)	▲ 31.3	18.8 (25.0)	56.2 (56.2)	25.0 (18.8)	▲ 6.2 (6.2)	▲ 12.4
飲食業	41.7 (25.0)	41.6 (58.3)	16.7 (16.7)	25.0 (8.3)	16.7	33.3 (16.7)	50.0 (50.0)	16.7 (33.3)	16.6 (▲ 16.6)	33.2
サービス業	15.2 (20.0)	60.6 (51.4)	24.2 (28.6)	▲ 9.0 (▲ 8.6)	▲ 0.4	9.1 (11.4)	63.6 (57.2)	27.3 (31.4)	▲ 18.2 (▲ 20.0)	1.8

※緑色の部分が前年同月と比較し増加した業種となります。

()内は前月データ

「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計

「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



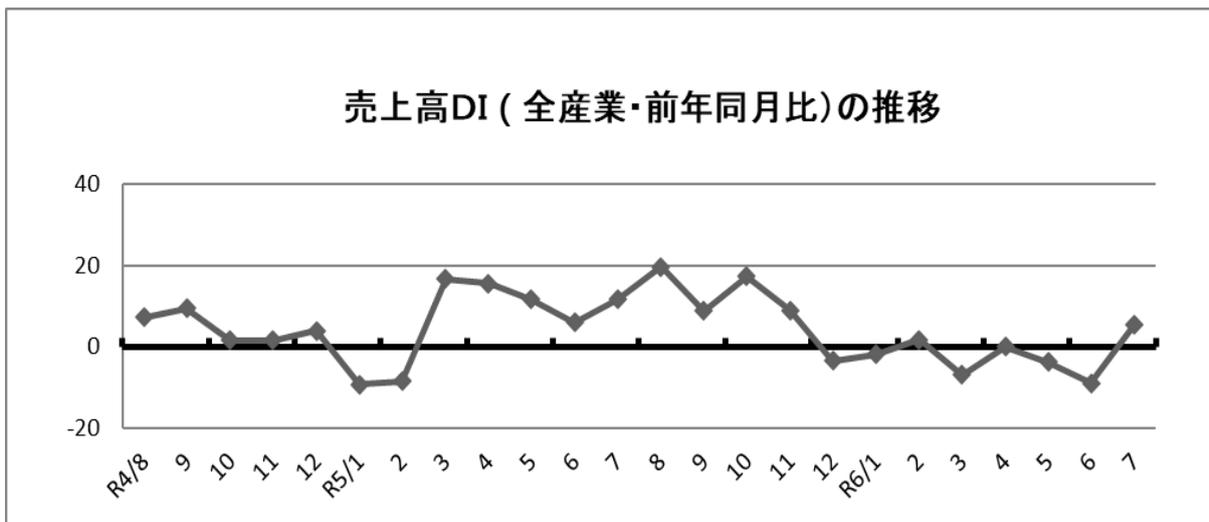
2. 売上高

- 全産業合計の売上高DIは、**やや好調**。
前月(やや低調)からは好転(▲8.9→5.5)

業種ごとの売上高DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
低調	好調	好調	やや低調	やや好調	横ばい

【対前年同月比全産業合計売上高DIの推移】

R5.7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
11.6	19.7	8.8	17.3	9.0	▲3.5	▲1.8	1.8	▲6.9	0.0	▲3.7	▲8.9	5.5



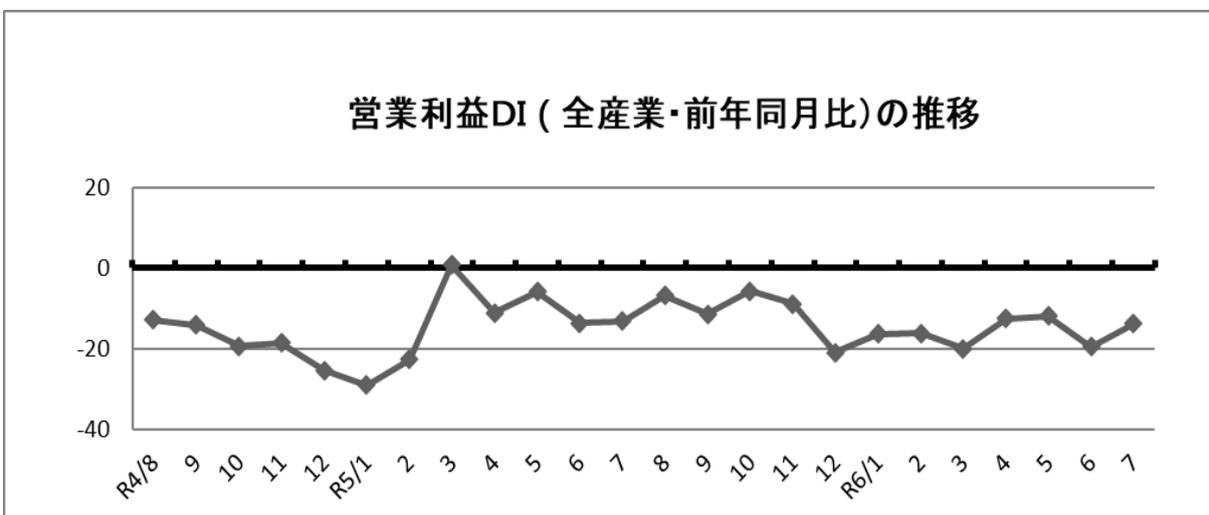
3. 営業利益

- 全産業合計の営業利益DIは**やや低調**。
前月(やや低調)からは好転(▲19.6→▲13.9)

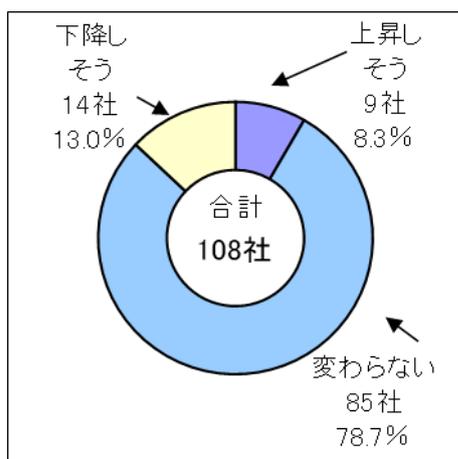
業種ごとの営業利益DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
低調	やや好調	やや低調	低調	やや低調	横ばい

【対前年同月比全産業営業利益DIの推移】

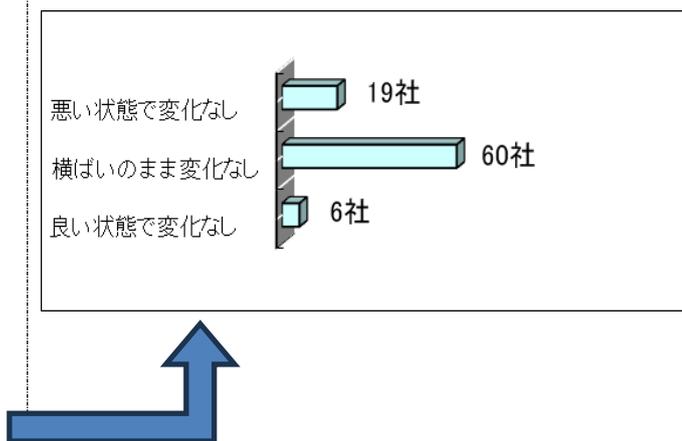
R5.7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
▲13.2	▲6.8	▲11.4	▲5.8	▲8.9	▲20.9	▲16.4	▲16.2	▲20.0	▲12.6	▲11.9	▲19.6	▲13.9



◇ 向こう3カ月の見通し ◇



◆ 『変わらない』の内訳 ◆



令和6年8月～令和6年10月の見通しDIは、
 「上昇しそう」が減り(11.6%→8.3%)、「下降しそう」が増えた。(7.1%→13.0%)
 全体的に下向き傾向がみられる。

業種ごとの見通しDI					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
やや低調	やや低調	低調	やや低調	やや好調	やや好調

今後3ヶ月の見通しに対する各業種のコメント

【建設業】

「下降しそう」 新規工事の依頼がないため

【製造業】

「上昇しそう」 夏季は閑散期のため

「下降しそう」 防衛や宇宙関連は国策による予算示達もあり右肩上がりの推移と予想されるため

「下降しそう」 商品在庫が希薄な為

欧米の選挙やロシアウクライナ情勢、中東情勢など世界的に不安定、不透明な状況が予想される中でプラスに働きそうな要素があまり見当たらないため
 受注量が減少するため、急激な円高ドル安により輸出が減少するため

【卸売業】

「上昇しそう」 8月はトップシーズンであるため

「下降しそう」 暑さによる購買意欲の低下と野菜高騰のため

仕入価格は上がっているが販売価格に転嫁しきれていないため
 各原材料の値上げが価格に反映していないため

【小売業】

「上昇しそう」 不動産販売が上昇しそうのため

「下降しそう」 猛暑により人出が悪いため

【飲食業】

「上昇しそう」 観光客等客数の増加のため

暑気払いや納涼で生ビールが出る機会が増えるため

【サービス業】

「上昇しそう」 予約状況が好調のため、インバウンドの予約が増加するため、繁忙期のため

業種別景況

1. 建設業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
低調	低調	やや低調	低調	やや低調
前月比 13.8増加	前月比 2.7増加	前月比 0.6減少	前月比 6.2増加	前月比 18.0減少

【項目別DIの推移】

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9	0.0	▲ 5.3	▲ 11.7	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 25.0	▲ 38.8	▲ 25.0
受注量	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 11.7	▲ 26.6	▲ 16.6	▲ 21.1	▲ 30.0	▲ 27.7	▲ 25.0
受注単価	▲ 5.9	5.6	5.9	5.9	5.0	5.3	5.9	0.0	0.0	0.0	5.0	▲ 5.6	▲ 6.2
営業利益	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.0	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 43.8
見通し	5.9	5.5	5.9	0.0	0.0	▲ 10.5	▲ 5.9	▲ 13.3	▲ 11.1	0.0	15.0	5.5	▲ 12.5

<経営者の目・見方・e t c>

鉄工

- ・今年は2024年問題からか、建築関係の物件が全国的に減少していて、あつても首都圏集中になっている。地方との格差が広がる一方である。
- ・あまり動きがよくないと感じる。

土木工事

- ・公共工事の発注が少なく不安を感じている。松本市内の人出は目を見張るものがあり、観光関連はコロナ禍以前に戻っているように思う。

2. 製造業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
好調	好調	好調	やや好調	やや低調
前月比 61.1増加	前月比 38.9増加	前月比 22.2増加	前月比 22.1増加	前月比 27.8減少

【項目別DIの推移】

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲23.5	11.8	6.2	▲31.5	▲5.9	5.0	▲22.2	38.9
受注量	▲5.3	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲31.6	▲23.5	▲5.0	▲11.1	27.8
受注単価	26.3	16.7	▲6.7	16.7	0.0	0.0	23.5	12.5	▲10.5	11.7	15.0	11.1	33.3
営業利益	▲26.3	▲33.4	▲13.3	▲27.7	▲29.5	▲35.3	▲5.9	▲25.0	▲57.9	▲35.3	0.0	▲16.6	5.5
見通し	▲5.2	16.6	0.0	16.6	▲5.8	▲17.6	23.5	6.3	0.0	0.0	0.0	11.1	▲16.7

<経営者の目・見方・etc>

印刷

・印刷用紙の値上げがあり、それに連動して価格転嫁をしなければならないが、受注間隔が長いと再三の値上げ分に呼応して大幅な価格上昇となるため、顧客が面食らってしまうことになる。一方で、受注間隔が短いと「また今回も値上げ？」みたいな印象もあり、どちらに転がっても価格転嫁の状況理解が徐々に厳しくなっている印象がある。外部環境を丁寧に説明したい。低価格で対応していた外注費の値上げも進行しており、業績、収益性を圧迫している。

金属塗装

・7月は過去5年間で最も良かったが、9月からは塗装部門で大幅な減少が予定されており心配である。

小型情報機器組立

・少しだが話は前に向きつつある。



3. 卸売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
好調	やや好調	やや好調	やや低調	低調
前月比 61.6増加	前月比 46.2増加	前月比 23.1増加	前月比 30.8増加	前月比 7.7増加

【項目別DIの推移】

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	8.3	9.1	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	21.5	▲ 15.4	0.0	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 6.7	▲ 38.5	23.1
販売客数	▲ 8.4	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 15.4	6.6	▲ 30.8	15.4
販売客単価	25.0	27.3	8.3	18.2	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 7.7	15.4
営業利益	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 46.2	▲ 15.4
見通し	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	▲ 7.2	▲ 23.1	0.0	▲ 7.7	15.4	0.0	▲ 30.8	▲ 23.1

<経営者の目・見方・etc>

青果卸小売業

・午前中に動き午後は出歩かない人が多いように感じる。エアコンなどの電気料金の値上げによる心配があるように思う。

自転車

・業界全般低調である。在庫品を処分価格にするメーカーが出てきている一方、まだ値上げの話がある。来年に向けての新商品展示会が多くなってきた。

土産品

・観光地に多くのお客様が訪れ消費も活発になっている。学校も夏休みに入りファミリー客が増えた。7月後半は非常に売上も増え今後に期待したい。

金属製品

・メーカーは強気であるが、流通が弱気で荷動きが悪く、価格改定も浸透せずといった状況である。円高や株価変動でどのような影響が出てくるか不透明である。

木材・建材

・為替相場の変動による経営への影響がある。先ごろの急激な円高からは落ち着きを見せているが、今後の円高の動向が気になる。

4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや低調	やや低調	やや低調	低調	やや低調
前月比 25.0減少	前月比 24.9減少	前月比 18.7減少	前月比 31.2減少	前月比 12.5減少

【項目別DIの推移】

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	8.3	40.0	▲15.0	14.3	▲16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6	▲16.0	18.8	▲6.2
販売客数	4.1	20.0	▲20.0	9.6	▲5.6	0.0	5.5	9.1	0.0	0.0	▲16.0	6.2	▲18.7
販売客単価	25.0	15.0	▲10.0	▲14.3	▲5.6	0.0	▲5.6	9.1	19.1	20.0	▲12.0	12.5	▲6.2
営業利益	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3	▲22.2	▲15.8	▲22.2	▲18.2	▲19.0	6.7	▲24.0	0.0	▲31.2
見通し	8.3	0.0	0.0	▲19.0	▲5.6	▲21.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	▲12.5

<経営者の目・見方・etc>

洋菓子店

・観光地への菓子の卸しは発注が多く売上があったが、店の売上が暑さのため減った。

パン

・暑さは人の出にかなり影響がある。今年は特に製造量の調整が難しかった。

印章

・外国人観光客がとても増えている。松本城・上高地以外の松本も楽しんでもらいたいと思う。夏祭りや歌舞伎などで街が賑わった。この賑わいを継続するには何が必要なのだろうか？

印章・刃物研ぎ

・猛暑により人出は最悪である。

5. 飲食業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや好調	好調	やや好調	やや低調	やや好調
前月比 16.6減少	前月比 8.3増加	前月比 0.1増加	前月比 0.1減少	前月比 8.3減少

【項目別DIの推移】

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲33.3	0.0	0.0	33.3	16.7
販売客数	23.1	57.2	57.2	50.0	20.0	15.4	7.7	8.4	▲25.0	0.0	▲6.2	16.7	25.0
販売客単価	23.1	28.6	7.1	28.6	10.0	7.7	0.0	0.0	25.0	7.7	6.3	16.6	16.7
営業利益	▲7.7	28.6	0.0	14.3	▲10.0	▲53.8	▲15.4	▲16.7	▲41.6	▲15.4	▲37.5	▲8.3	▲8.4
見通し	0.0	7.2	7.2	14.3	0.0	▲7.7	7.7	33.3	16.7	7.7	25.0	25.0	16.7

<経営者の目・見方・etc>

寿司

- ・諸物価の上昇が続く中でなるべくロスを少なくするよう心掛けている。しかし、都度急な仕入が高額になる一方で、ケース単位などのまとめ買いもかえって高い出費になってしまう。とにかく暑く、食中毒には十分気をつけたい。

食堂

- ・夏休みに入り観光客も増え長野らしい夏であるが、暑過ぎることが客足に影響しないか心配である。

中華料理

- ・異常な気温上昇で昼時の高齢者の来店数が減っているが、夏休みに入ったので週末は家族連れが多い。
- ・物価高騰に耐えられず申し訳ないと思いつつ値上げした。まつもと大歌舞伎によるお客様が多く訪れてくれた。今後も2年に一度のペースで中村座には来てもらえるように、松本市民として盛り上げていきたい。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
横ばい	やや低調	好調	横ばい	やや好調
前月比 0.1減少	前月比 6.0減少	前月比 18.6増加	前月比 5.6増加	前月比 0.6増加

【項目別DIの推移】

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲12.1	▲3.1	3.0	9.4	17.7	10.5	▲2.9	▲3.0
販売客数	11.1	8.3	11.1	12.5	8.6	▲18.1	▲3.2	9.1	12.5	14.7	10.5	0.0	▲6.0
販売客単価	11.1	19.4	19.4	27.5	11.4	▲3.1	0.0	6.0	18.8	17.6	23.6	5.7	24.3
営業利益	▲5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲12.1	▲12.5	▲9.1	6.3	▲5.9	5.3	▲8.6	▲3.0
見通し	13.8	13.9	8.3	2.5	0.0	▲6.1	▲6.3	9.1	9.3	3.0	13.2	8.5	9.1

<経営者の目・見方・e t c>

観光旅館

・稀な大雨の影響で、遊歩道や登山道が不通になり影響を受けた。7月中に全ては修復できず、夏のシーズンへのダメージが予想され不安である。一方、今年はインバウンドの日帰りツアーのお客さんが多く来ている。売上は上がったが、人件費や食材や燃料、電気代などが影響して、利益は昨年並みになりそうである。

ホテル

・全般に宿泊数、料金ともに増加している。会議や宴会はコロナ禍前に比べて規模が縮小している。従業員が不足している。

ホームクリーニング・
リネンサプライ業
機械設計

・インバウンドの順調な伸びで経営状況も比較的安定している。松本市内に来訪する観光客の中で松本に宿泊しない割合を知りたい。
・年末から期末に向けてのテーマは未定である。

